

新春のご挨拶



西尾労働基準協会
会長 二宮英樹

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んでお慶び申し上げます。会員の皆様におかれましては、旧年中は当協会の事業運営にあたり、格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年に引き続き国際的な紛争の年でした。ウクライナでの戦争は、解決の糸口が未だ見いだせず戦闘が続いております。更にはハマスとイスラエルとの紛争によるガザ地区での惨状が日々報道され、こちらも同様に解決されないまま年越しとなりました。戦争の犠牲となられ方々へ心から哀悼の意を表します。こうした影響によるエネルギー価格の高止まりや円安による物価上昇が重なり、家計を逼迫しております。

物価上昇を受け企業の賃金上昇のスピードは、過去30年にないペースで上昇を続けており、愛知県の最低賃金は、ついに時給千円を突破しました。円安により上場企業の今期の決算は、約2割の企業が過去最高益となる予測がされています。デフレからの脱却が現実味を帯びてきましたが、日本の企業の9割を占める中小企業で賃上げが同様に行われるかどうかは日本の将来を決めると思われます。本年4月には、時間外労働の上限規制が猶予されていた建設業、自動車運転者、医師についても規制が適用されます。円滑な施行に向け、特に中小企業の自主的な取組を促す為の集中的な支援が為される予定となっています。長時間労働抑制に向けた監督指導が徹底される一方で、生産性向上による労働時間短縮に取り組む企業に対しては、行政からの支援が拡充されます。

労働災害防止については、愛知労働局の「第14次労働災害防止計画」に沿って、安全衛生管理を経営課題と捉え、事業運営と一体的に管理する経営を提唱する活動を行ってまいりました。その中核活動である「危険源相互確認会」において、会員各社のRAに対する理解度向上、浸透させる活動を製造業中心に行ってまいりました。去年は、この活動を全業種へ展開する足掛かりとして、非会員の15社への展開と株式会社デンソー様との共催で、社会福祉施設の皆様に対し、「第三次産業と製造業との異業種交流会」を開催することができました。

西尾管内の労働災害発生状況は昨年と比較すると17%低減し、122件（1～10月）の発生となっております。西尾市内事業者での死亡災害は、2年連続0件という結果となりました。業種で見ると商業で増加傾向となっております。こうした状況を鑑み、昨年実施した様に製造業以外の業種にもRAの展開を行っていきます。先行する製造業の会員が全業種への展開サポートする活動と「危険源のRA」に加え「化学物質のRAとその自律的管理」について活動を行う予定にしております。特に「化学物質」は、本年4月に管理責任者の義務化が適用されますが、当協会では昨年より選任講師による法規制説明会を開催しており、対応準備が滞りなくできたと考えております。

西尾管内で働くすべての方が安心健康に働ける環境づくりを支援する為に、岡崎労働基準監督署西尾支署と共に研修会や講演会等の事業を行って参ります。西尾地区には、非会員の事業所がまだまだ多くあります。仲間を増やし、「安全、安心に働ける西尾」を築いていく為に会員の皆様の一層のご協力をお願い致します。最後に会員会社様の益々のご発展、ご繁栄を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。